



本の福袋

日にち：1月11日（木） 中間休み～ 場所：図書室



本の福袋をします。図書室の机に、「友達」や「魔法」などのテーマが書かれた福袋を並べます。福袋には、本が2冊ずつ入っていますが、どんな本が入っているかは、お楽しみ！今まで自分では選ばなかった本との新しい出会いがあるかもしれません。

そして、今年は、福袋の中にアンケートが入っています。アンケートに答えてくれた人にはおみくじも用意していますよ。図書室で運試ししてみませんか？

ぜひ、図書室まで福袋を見にきてくださいね。

【お約束】



- ・読書かばんと、借りていた本と、貸出カードを忘れずに持ってきてください。
- ・図書室までは歩いて来てください。
- ・福袋は1人1つずつ選びましょう。福袋は、1・2年生用、3・4年生用、5・6年生用を用意しているので、自分の学年のところから選んでください。
- ・どの福袋にするか決まったら、カウンターで貸出しをしてください。
- ・福袋を開けるのは教室にもどってからです。図書室では開けないでください。
- ・福袋の本は読み終わったら、図書室に返しに来てください。
(新聞紙の袋は返さなくても良いです)
- ・福袋の中に、アンケートが入っています。書いてくれた人は図書室に持ってきてください。持ってきてくれた人は、おみくじを引くことができますよ。

※1月11日の分の福袋が無くなったら、次の日以降にも、新しい福袋を出しますよ。



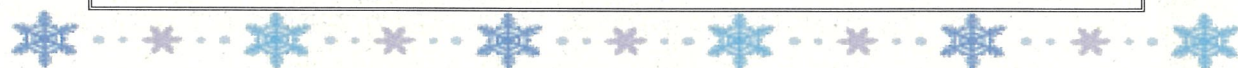
八幡市立八幡小学校 図書室

本のおたより

(4年生～6年生用)



令和5年12月12日冬号



この冬、読んでおきたい本

今回の本のおたよりでは、「この冬、読んでおきたい本」を紹介したいと思います。季節が冬の物語や、心が温まる物語、この冬話題のあの本まで、冬休みの間に読みたくなる本ばかりです。寒い冬に本を読んで心をぽかぽかにしましょう。

また、3学期の初めには、本の福袋を行います。楽しみに待っていてくださいね。



自然科学 『生き物が教えてくれる季節のおとずれ 冬』

亀田龍吉/写真・文 夕文社

日本の四季を感じよう



日本には、春、夏、秋、冬の4つの季節がありますね。この4つの季節を、6つに分けて名前をつけたものを二十四節季と言います。冬は、「立冬」、「小雪」、「大雪」、「冬至」、「小寒」、「大寒」の6つです。この二十四節季をさらに3つずつに分けて、季節の変化を表したものが七十二候です。例えば、虹を見かけなくなるという意味の「虹蔵不見（にじかくれてみえず）」や、北風が木の葉を散らすという意味の「朔風払葉（きたかぜこのはをはらう）」などがあります。二十四節季も、七十二候も、紀元前の中国でつくられたのですが、季節を自然の言葉で上手に言い表されていると思いませんか？

そんな季節の移り変わりを、暦と照らし合わせながら、植物や、鳥、昆虫などの写真真たっぷりに紹介されている本です。日本にいるからこそ感じるこの季節の変化を感じてみましょう。